

初めてレポートを書かれる方・
書き方に不安がある方へ

レポートの 書き方資料



中央大学ライティング・ラボ



目次

1. レポート・論文の構成とレイアウト	1
2. 序論・本論・結論	5
3. パラグラフ・ライティング	9
4. 引用のマナー	12
5. 図表の扱い方	17

中央大学ライティング・ラボ マスコットキャラクター



レポートの書き方資料

編集・発行 中央大学アカデミック・サポートセンター ライティング・ラボ
〒192-0393

東京都八王子市東中野 742-1

FOREST GATEWAY CHUO 5 階

https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/learning_space/writinglab/

発行日 2021年9月1日 初版発行

1. レポート・論文の構成とレイアウト

□ 概要

レポート・論文の基本構成は「**表紙・序論・本論・結論・参考文献リスト**」の5項目である。

※**表紙が不要な場合もあるため、課題要件をよく確認すること。**

レポート・論文のレイアウトは**項目ごとに様式が定められている**。

※**大学・教員・提出先団体の指定がある場合には、当該指定に従うこと。**

□ 構成とレイアウトが必要な理由

読み手の視点に立った場合、2点理由を挙げることができる。

- ① **視覚的に何が書いてあるのかわかりやすい文章にするため。**
- ② **レポート・論文の要件を満たしているかどうかわかりやすい文章にするため。**

□ 構成とレイアウトの手順

① **表紙の作成** (不要な場合は②へ)

レポート・論文の基本情報を書く。(作例①を参照)

② **序論・本論・結論の作成**

項目ごとに見出し(大・小)を設けるほか、レイアウト(余白・行間・改行・図表・フォントの大小など)に注意して書く。(作例②を参照)

※**項目ごとに書く内容については、資料「2. 序論・本論・結論」を参照すること。**

※**図表の挿入については、資料「5. 図表の扱い方」を参照すること。**

③ **参考文献リストの作成**

参考にした文献や資料の出典を所定の様式で書く。

作成例① 表紙の構成とレイアウト

※大学・教員・提出先団体指定の用紙がある場合には、当該用紙に従うこと。

提出年月日

2020年7月1日(水)

授業名・授業時間・教員名

アカデミック・ライティングの技法
(○曜○限)
担当教員：○○ ○○

タイトルは12-14ポイントで書く

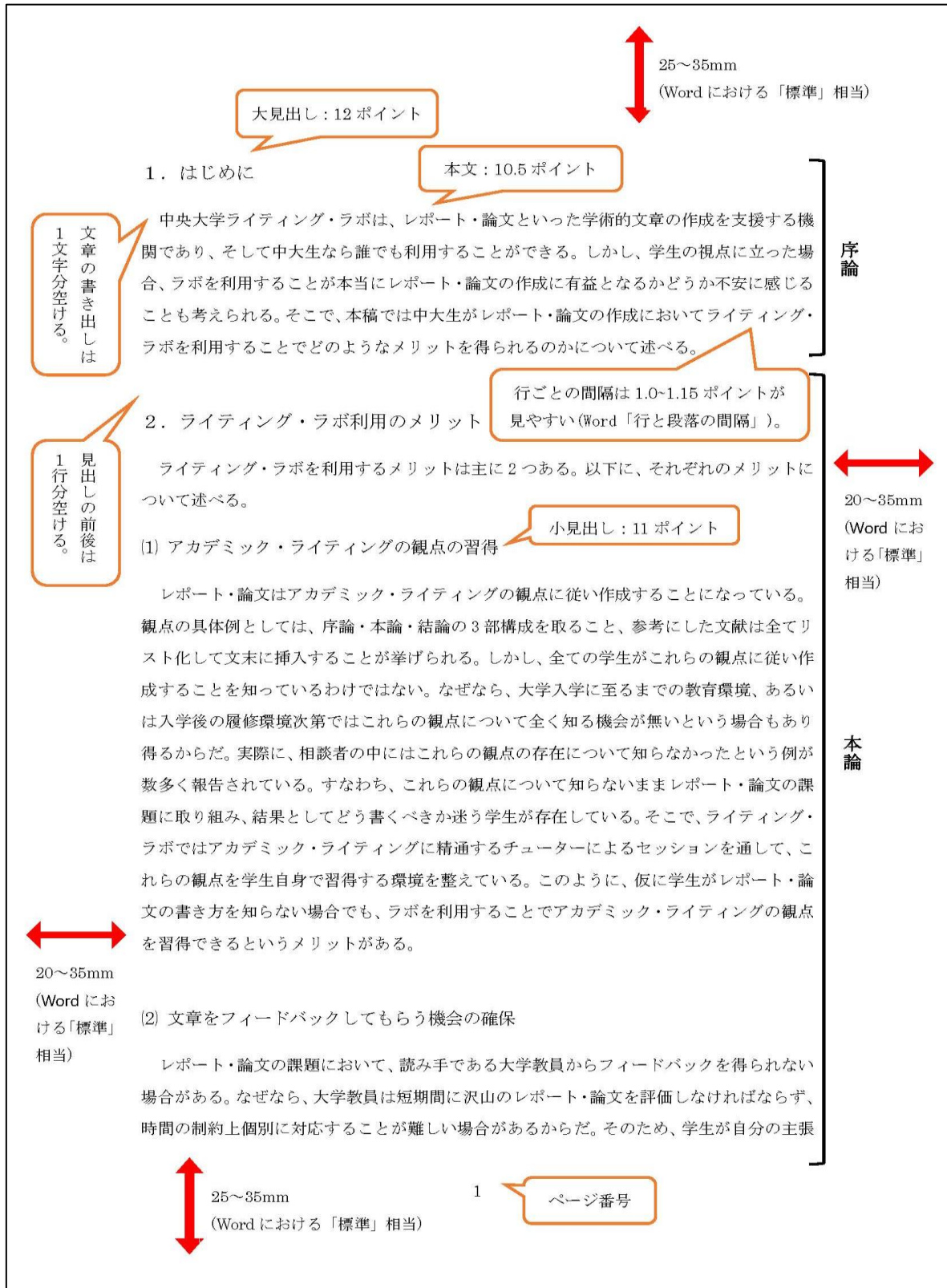
ライティング・ラボ利用のメリット

学部・学籍番号・氏名

中央大学 ○○学部○○学科
学籍番号：20○0001001○
氏名：中央 あざラボ

作成例② 序論・本論・結論、参考文献の構成とレイアウト

※学部によっては異なる書き方をすることがあるため、課題要件または教員への確認を怠らないこと。また、同じ分野の人が執筆している論文を参照することも有効である。



が読み手に伝わるかどうかを確認したり、問題意識を掘り下げたりする機会を十分確保できないという可能性が起り得る。そこで、ライティング・ラボではチューターとのセッションを通して、読み手に主張が伝わるかどうか、そして問題意識の掘り下げが十分かどうかを検討できる環境を整えている。このように、ラボを利用することで自分の文章をフィードバックしてもらう機会を確保できるというメリットがある。

本論

3. 結論

本稿では、中大学生がレポート・論文の作成においてライティング・ラボを利用するメリットについて検討した。その結果、ラボを利用することでアカデミック・ライティングの視点を習得できることと、自分の文章をフィードバックしてもらう機会を確保できることという2つのメリットがあることが明らかとなった。このことから、中大学生がライティング・ラボを利用することで、学生が文章を書く能力と自身の意見を相手にわかりやすく伝える情報発信能力を養成できると考える。

結論

参考文献

中央大学ライティング・ラボ「ライティング・ラボとは？」<https://www2.chuo-u.ac.jp/dai-gakuin/writinglab/infomation1.html>（2021年4月30日閲覧）

参考文献

【図表の挿入方法】

図表の挿入方法は、資料「図表の挿入」を参照すること。

【文字のフォントについて】

MS Word の場合、特別の指示がない限り MS 明朝(漢字・平仮名・カタカナ)と Century(数字・英字)が基本となる。

◇参考文献

石井一成（2011）『ゼロからわかる 大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社

佐渡島沙織・吉野亜矢子（2008）『これから研究を書くひとのためのガイドブックーライティング挑戦15週間ー』ひつじ書房

2. 序論・本論・結論

□序論・本論・結論とは

レポートや論文などの学術的文章は、序論・本論・結論の 3 つに大きく分かれ、同じ内容を三回繰り返す「らせん状の構成」となっている。

まず、**序論**では文章の**内容全体を予告**していく。次に**本論**ではその**内容を詳しく論じ**ていく。最後に**結論**で文章の**内容を要約して復習**していく。このように、序論で予告された内容を本論で詳しく論じ、さらに結論でもう一度おさらいすることが学術的文章を書く上で求められる。

この〈序論・本論・結論〉の構成は、〈始め、中、終わり〉といった構成とは大きく異なる。なぜなら、後者は「始め」で主張を述べる、「中」で理由を述べる、「終わり」で今後の課題を述べる構成であり、それぞれの項目で内容が互いに繰り返されないからである。



序論・本論・結論
それぞれの役割を確認しよう！

□この構成で書かなければならない理由

序論・本論・結論に分けて書くことは、書き手の背景をよく知らない読み手に対して、文章の内容を**わかりやすく伝える効果**を有する。学術的文章は書き手の立場や主張を公に示す文章であるため、読み手が正確に理解できる文章でなければならない。

文章が**何について着目**し(序論)、**どのような根拠**をもとに(本論)、**どのような主張**をしているか(結論)、という**構造を統一**することで、読み手はその流れに沿って内容を検討することができる。もしこのような構造がバラバラでわかりにくくなっている場合、読み手が文章を誤って理解してしまう危険性がある。



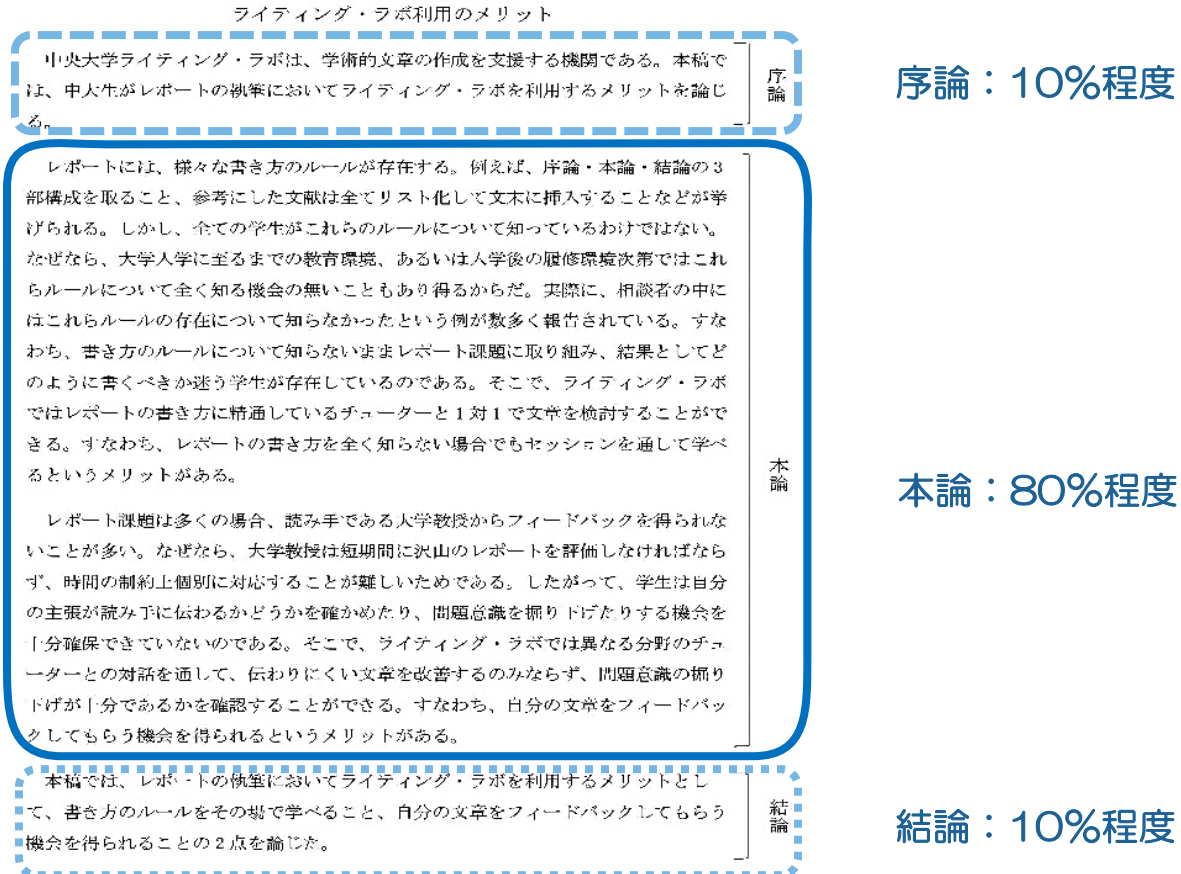
何を言いたいのか
わからないよ～

俺がこう思う
からこう!!



□ 序論・本論・結論を書く手順

下図のように、序論 10%、本論 80%、結論 10%のバランスで書くことが一般的である。



① 序論の書き方

序論にはレポートや論文の問いや目的を書く。レポートの問いや目的を遂行するためにどのような手法を使うのか、使う資料の紹介やデータの収集方法を示したりする場合もある。また、本論の構成を紹介する場合もある。

< 序論の例 >

中央大学ライティング・ラボでは、学術的文章の作成を支援する機関である（→研究の背景）。本稿では、中大生がレポートの執筆においてライティング・ラボを利用するメリットを論じる（→研究の目的）。

② 本論の書き方

本論では、序論で述べた問いや目的に関して、複数の章や節で説明する。章や節の数は、論じる内容の整理の仕方によって異なる。

<本論の例>

序論で述べた目的が、「中大生がレポートの執筆においてライティング・ラボを利用するメリット」であるならば、本論では次のように論じることが出来る。

レポートには、様々な書き方のルールが存在する。例えば、序論・本論・結論の3部構成を取ること、参考にした文献は全てリスト化して文末に挿入することなどが挙げられる。しかし、全ての学生がこれらのルールについて知っているわけではない。なぜなら、大学入学に至るまでの教育環境、あるいは入学後の履修環境次第ではこれらルールについて全く知る機会の無いこともあり得るからだ。実際に、相談者の中にはこれらルールの存在について知らなかったという例が数多く報告されている。すなわち、書き方のルールについて知らないままレポート課題に取り組み、結果としてどのように書くべきか迷う学生が存在しているのである。そこで、ライティング・ラボではレポートの書き方に精通しているチューターと1対1で文章を検討することができる。すなわち、レポートの書き方を全く知らない場合でもセッションを通して学べるというメリットがある。

**本論(1)：セッションを通して
レポートの書き方を学べる**

本論

レポート課題は多くの場合、読み手である大学教授からフィードバックを得られないことが多い。なぜなら、大学教授は短期間に沢山のレポートを評価しなければならず、時間の制約上個別に対応することが難しいためである。したがって、学生は自分の主張が読み手に伝わるかどうかを確かめたり、問題意識を掘り下げたりする機会を十分確保できていないのである。そこで、ライティング・ラボでは異なる分野のチューターとの対話を通して、伝わりにくい文章を改善するのみならず、問題意識の掘り下げが十分であるかを確認することができる。すなわち、自分の文章をフィードバックしてもらう機会を得られるというメリットがある。

**本論(2)：自らの文章をフィード
バックしてもらう機会が
得られる**

③ 結論の書き方

本論の内容を要約し復習する。論文では、その研究の限界や今後の研究に向けての展望を付け加える場合もある。

<結論の例>

序論・本論を次のような流れで述べる場合、結論は下記のようにまとめることができる。

▶ 序論

中大生がレポートの執筆においてライティング・ラボを利用するメリットを論じる。

▶ 本論

ライティング・ラボを利用することのメリット(1)

→「セッションを通してレポートの書き方を学べる」

ライティング・ラボを利用することのメリット(2)

→「自らの文章をフィードバックしてもらい機会が得られる」

▶ 結論

…レポートの執筆においてライティング・ラボを利用するメリットとして、書き方のルールをその場で学べること（→本論：ライティング・ラボを利用するメリット(1)）と、自分の文章をフィードバックしてもらい機会が得られること（→本論：ライティング・ラボを利用するメリット(2)）の2点を論じた(→序論の目的に対する答え)。

◇参考文献

河野哲也（2018）『レポート・論文の書き方入門 第4版』 太平社

佐渡島紗織・坂本麻裕子・大野真澄編著（2015）『レポート・論文をさらに良くする「書き直し」ガイド—大学生・大学院生のための自己検定法 29—』 大修館書店

3. パラグラフ・ライティング

□パラグラフ・ライティングとは

パラグラフ・ライティングとは、パラグラフを積み重ねて文章を構成する技法のことである。

パラグラフは、一つの**中心文**(topic sentence)とそれを支える**支持文**(supporting sentences)によって構成される。中心文は、当該パラグラフにおいて最も主張したい内容を述べた一文であり、「主題文」や「主張文」とも呼ぶ。支持文では、中心文の内容に対する根拠や具体例、説明などを述べる。「トピック・センテンス」に付随する内容を書くので「サブ・センテンス」と呼ぶこともある。

□パラグラフ・ライティングをする理由

パラグラフ・ライティングをすることにより、言いたいことが整理され文意が伝わりやすくなる。パラグラフ・ライティングの技法を用いることで、自身が書きたい内容を過不足なく書くことが容易になる。また、中心文を追うことで論理展開が把握しやすくなり、読み手にとっても読みやすい文章になる。

□パラグラフ・ライティングの手順

①パラグラフを**中心文**と**支持文**で構成する。

中心文とは、当該パラグラフにおいて最も主張したい内容を簡潔に述べた文のことである。この中心文を補強するように、中心文の論点に関わる支持文を書く。

パラグラフの構成の仕方は、中心文をどこに書くかによって「頭括」、「両括(=双括)」、「尾括」の3種類に大別できる(図1)。分野やレポートの種類にもよるが、学術的文章では頭括が最もよく用いられる。

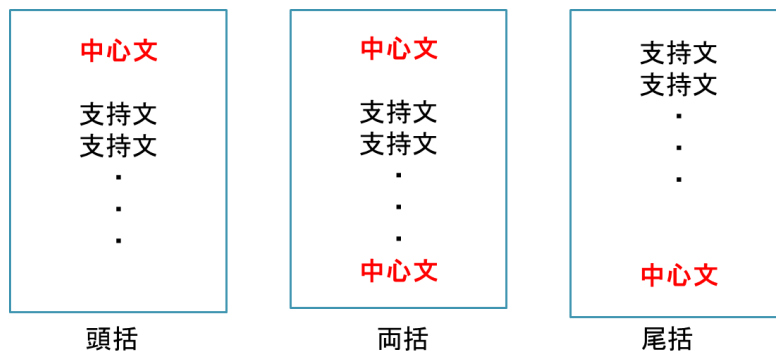


図1. パラグラフの構造

②パラグラフを積み重ねて文章を作成する

中心文と支持文によって構成されたパラグラフを、パラグラフごとの中心文を繋げると文章全体の要旨がわかるように並べて文章を構成する。

パラグラフの構成例

パラグラフの構成の手順について、以下の例文¹を修正することを通して説明していく。この例文は、パラグラフ・ライティングに沿って書かれていないため、何を言いたいのかがはっきりしない。便宜上、文に①から⑥と番号を振った。

①スルメイカの一生は旅に始まり旅に終わることができる。②ところで旅をするといえ、ウナギもまた一生をかけて長い旅をする生物である。③ウナギはまず海で生まれ、海流に乗って流されながら成長し、川を目指す。④スルメイカは冬に九州の南の海で生まれる。春になると、スルメイカは日本海と太平洋を北上し始める。⑤夏を迎えると、スルメイカは北海道周辺でUターンをし、今度は再び南へと向かう。⑥そして冬頃、スルメイカは自分の生まれた南の海に戻って一生を終える。

まず、このパラグラフで最も主張したい内容を表した一文である**中心文を、パラグラフの最初に置く**。このパラグラフでは、スルメイカの一生について書いており、「①スルメイカの一生は旅に始まり旅に終わることができる。」という一文が中心文になる。

次に、**中心文に合わせて支持文を構成**する。中心文はスルメイカの一生に関する文であるため、②と③のウナギに関する文はこのパラグラフにそぐわない。そのため、この2文を削除する。

最後に、支持文について、中心文の具体例や根拠など**過不足なく書けているか**を確認する。この例文においては④から⑥においてスルメイカの一生を過不足なく書くことができていることを確認できる。この手順に従って例文をパラグラフ・ライティングの技法を用いて修正したものが以下の文章である。

¹ 中央大学ライティング・ラボ主催のワークショップ(2019)で使用した作例

①スルメイカの一生は旅に始まり旅に終わると言うことができる。②スルメイカは冬に九州の南の海で生まれる。春になると、スルメイカは日本海と太平洋を北上し始める。③夏を迎えると、スルメイカは北海道周辺でUターンをし、今度は再び南へと向かう。④そして冬頃、スルメイカは自分の生まれた南の海に戻って一生を終える。

以上のように、各パラグラフで扱う話題は一つにし、違う話題の内容を混ぜないことが重要である。また、支持文では、一貫して中心文と関わりのある内容だけを書く。パラグラフ・ライティングによって、思考を整理して書くことが可能となり、支持文の過不足を把握することも容易にできる。さらに、読み手にとっても文章全体の構造が把握しやすくなる。

◇参考文献

ケリー伊藤 (2002) 『英語 パラグラフ・ライティング講座』 研究社

佐渡島紗織・坂本麻裕子・大野真澄編著 (2015) 『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド
—大学生・大学院生のための自己検定法 29—』 大修館書店

戸田山和久 (2012) 『新版 論文の教室—レポートから卒論まで—』 NHK BOOKS

4. 引用のマナー

□ 引用とは

引用には直接引用と間接引用の2種類がある。

<直接引用>

㊦ 1～2行程度の短い引用

→参照した文章をそのまま書き写し、「」(引用符)で括って自分の文章に取り込む方法

㊧ ブロック引用

→3行以上の文章をそのまま引用するための方法

<間接引用>

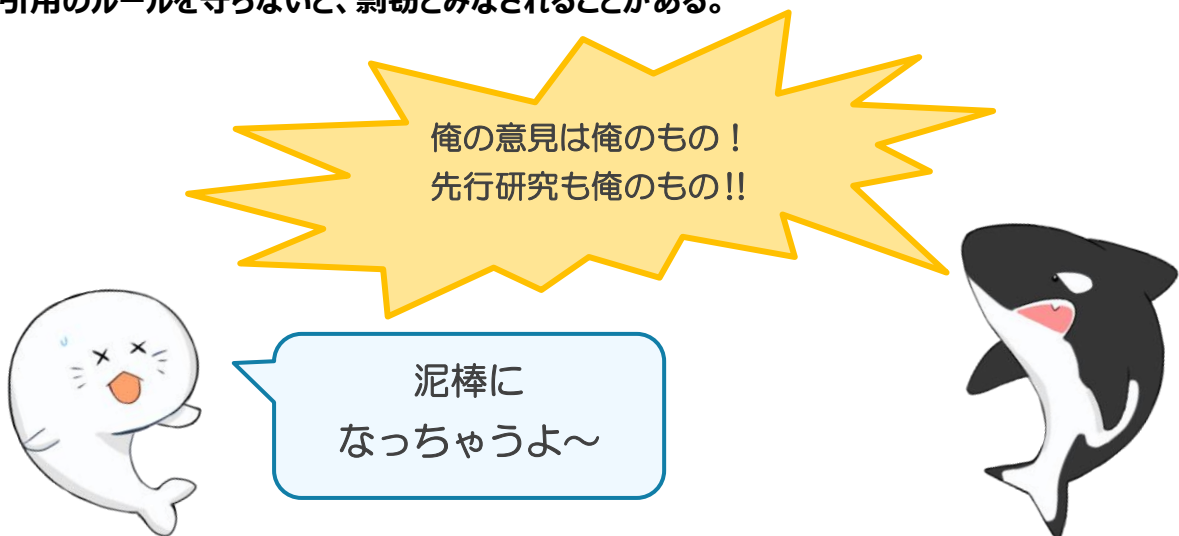
㊨ 参照した文章を要約して自分の文章に取り入れる方法

※㊦・㊧・㊨どの引用の場合にも参考文献リストをつける。

引用にはさまざまな書式や規則があり、文章内で統一して書く必要がある。また、学問分野・領域によって書式の規定があるので、ゼミ、研究科、学会の規定を調べ、決められた書式に従おう。

□ 引用のルールを守らなければならない理由

- ① 他者の意見を著者や出所を挙げて示し、尊重して扱う(知的所有権を守る)ことになる。
- ② 他者の意見と自分の意見の区別が明瞭になる。
- ③ 引用のルールを守らないと、剽窃とみなされることがある。



① 引用の手順と作成例 <ア・ウ>

① 剽窃を避ける

- (1) 文献から得た情報を本文に含める場合には、必ず出典を示す。
- (2) 文献から得た情報を自分の言葉で言い換える（要約する）場合にも必ず出典を示す。
- (3) 原文を書き写した部分は必ず「 」で括り（④については後述）、出典も示す。

② 引用の2つの方式（著者年方式と脚注方式）

引用をする際には、〈著者年方式〉と〈脚注方式〉の2つの方式がある。

<著者年方式>

著者年方式とは、本文中に出典として、著者名、発行年、ページ番号を（ ）を使って表記する引用の形式である。著者年方式では、出典を示すために注は使わない。参考文献の題などの詳細は、本文の後ろの参考文献リストにまとめて書く。

<著者年方式の作成例>

直接引用(引用の㉞)

航空機の生産を取りまとめる完成機メーカーは、航空機産業のものづくりにおいて重要な立役者である。完成機メーカーとその下で控える数多くのサプライヤーの関係性は、上で設計を行った後、下請けに発注を行うだけといった垂直的な関係性ではない。

渋武 (2020) によると完成機メーカーは、「プレイヤーを取りまとめていく、いわば大規模な大工仕事における棟梁のような、全体を差配して、隅々まで目を配り、長期間にわたる複雑なプロジェクトをうまく進めていく」(p.4) 役割であると定義されている。

間接引用(引用の㉟)

アメリカやフランスには、ボーイングやエアバスなどの完成機メーカーの拠点が立地している。さらに、シアトルやトゥールーズといった航空機産業クラスターでは、内陸部の工場へサプライヤーから直接機体部品の輸送を可能とする空港が隣接している(岡部、2015、p.105)。そのため、空港は最終組み立て直前の工程において、海外のサプライヤーからの部品供給という重要な役割を果たす輸送における最後の砦ともいえる役割を持つ(合田、2009)。

一方、完成機メーカーが存在しない日本の航空機産業では、部品供給はB787機体部品の一部を除き大部分を海上輸送に頼り、未だ航空機部品における航空輸送の利用は少ない(岡部、2015、p.106、川上、2020、p.13)。日本航空宇宙工業会によると、2019年度の航空機部品の海上輸送比率は全体で約85%を占めている(日本航空宇宙工業会)。

間接引用(引用の㉟)

以上を踏まえると、日本の航空機産業の部品輸送において航空輸送が少ない要因は、航空機産業におけるサプライヤーとしての地位が根付いてしまっていることが考えられる。

著者名、出版年、書名、出版社以外に引用したページ数を記すこともある

参考文献

引用文献は本文後ろの参考文献リストにまとめる

- 合田昭二編 (2009) 『大企業の空間構造』原書房
 岡部遊志 (2015) 「フランスにおける航空宇宙産業クラスターと地域間連携—ミディ・ピレネー地域圏を事例として—」『経済地理学年報』第61巻、pp.101-120
 川上梓 (2020年5月12日) 「スペースジェット、深まる窮状」『日本経済新聞』朝刊、13面
 渋武容 (2020) 『日本の航空産業』中央公論新社
 日本航空宇宙工業会「航空宇宙データベース 令和元年7月」https://www.sjac.or.jp/common/pdf/toukei/7_database_2019.07.pdf (2020年5月12日閲覧)

<脚注方式>

脚注方式とは、文中の該当箇所に注番号を振って、引用の出典や本文中の記述に補足説明をするやり方のことである。「脚注」は各ページの下につける形式と、本文の終わりにまとめてつける形式とがある。注の中で、著者名、文献発行年、引用ページを記し、詳しい出典は「参考文献リスト」を本文の後ろにつける。Word などのワープロソフトには脚注機能があり、自動的に数字を振ってくれるので活用するとよい。なお、脚注の数字表記は、(1)、(2)、(3)、[1]、[2]、[3]、1、2、3 など、書式によって異なる場合がある。

<脚注方式の作成例>

航空機の生産を取りまとめる完成機メーカーは、航空機産業のものづくりにおいて重要な立役者である。完成機メーカーとその下で控える数多くのサプライヤーの関係性は、上で設計を行った後、下請けに発注を行うだけといった垂直的な関係性ではない。直接引用(引用の㉞)

完成機メーカーには、「プレイヤーを取りまとめていく、いわば大規模な大工仕事における棟梁のような、全体を差配して、隔々まで目を配り、長期間にわたる複雑なプロジェクトをうまく進めていく」¹役割である必要がある。

アメリカやフランスには、ボーイングやエアバスなどの完成機メーカーの拠点が立地している。さらに、シアトルやトゥールーズといった航空機産業クラスターでは、内陸部の工場へサプライヤーから直接機体部品の輸送を可能とする空港が隣接している²。そのため、空港は最終組み立て直前の工程において、海外のサプライヤーからの部品供給という重要な役割を果たす輸送における最後の砦ともいえる役割を持つ³。間接引用(引用の㉟)

一方、完成機メーカーが存在しない日本の航空機産業では、部品供給はB787機体部品の一部を除き大部分を海上輸送に頼り、未だ航空機部品における航空輸送の利用は少ない⁴。日本航空宇宙工業会によると、2019年度の航空機部品の海上輸送比率は全体で約85%を占めている⁵。

以上を踏まえると、日本の航空機産業の部品輸送において航空輸送利用が少ない要因は、日本の航空機産業におけるサプライヤーとしての地位が根付いてしまっていることが考えられる。

参考文献

合田昭二編 (2009) 『大企業の空間構造』原書房

岡部遊志 (2015) 「フランスにおける航空宇宙産業クラスターと地域間連携—ミディ・ピレネー地域圏を事例として—」『経済地理学年報』第61巻、pp.101-120

川上梓 (2020年5月12日) 「スペースジェット、深まる窮状」『日本経済新聞』朝刊、13面

渋武容 (2020) 『日本の航空産業』中央公論新社

日本航空宇宙工業会「航空宇宙データベース 令和元年7月」https://www.sjac.or.jp/common/pdf/toukei/7_database_2019.07.pdf (2020年5月12日閲覧)

引用文献は本文後ろの参考文献リストにまとめる

¹ 渋武 2020、p.4

² 岡部 2015、p.105

³ 合田 2009

⁴ 岡部 2015、p.106、川上 2020、p.13

⁵ 日本航空宇宙工業会

脚注では「著者名、発行年、ページ数」を示す

② 引用の手順と作成例 <① (ブロック引用)>

- ①引用箇所は自分の主張したいことと関係のある箇所を過不足のないように選ぶ
- ②引用前には必ず誰が述べており、かつなぜ引用するのかを予告する文を入れる
- ③句読点を含む一言一句を全て書き写す
- ④引用した箇所は必ず左 3 マス分を空け、かつ本文との間に 1 行分空けるようにする
- ⑤出典と引用ページの記入を忘れないようにする
- ⑥引用後は、引用部分の要点と自分の主張との関係について必ず言及する。

<ブロック引用の作成例>

世界的にみた航空機産業は、アメリカのボーイング社や欧州のエアバス社といった完成機を製造する 2 大企業の寡占状態である。しかし、新機種の設計・開発となると巨額の費用と膨大な時間を要するため、たとえ巨大な企業でも一社単独でそれらすべての工程を完結させることは不可能である。このような産業構造に関して、渋武 (2020) は以下のような見解を示している。

直接引用 (引用の①)

↑ ↓ 1 行分空ける

予告文を入れる

完成機メーカーは、全体を仕切り、どのような機体が市場に求められ、具体的な機能・性能をどうするかを煮詰め、設計し、サプライヤーを取りまとめながら一つの機体として仕上げていく。 (中略) 単に「完成機メーカーは設計を行って発注する、サプライヤーは下請けだ」ということではなく、これらプレイヤーを取りまとめていく、いわば大規模な大工仕事における棟梁のような、全体を差配して、隅々まで目を配り、長期間にわたる複雑なプロジェクトをうまく進めていくことが、完成機メーカーには必要になる。(p.4) (下線は筆者)

3 マス分空ける

↑ ↓ 1 行分空ける

引用ページ

上記のように、渋武は完成機メーカーの本来の役割に焦点を当て、完成機メーカーとサプライヤーの立ち位置について客観的な見方を示し、完成機メーカーの役割の大きさに言及している。国際的な連関を要する航空機産業は、一見すると上下関係のはっきりとした支配的な産業構造に捉えられることが多いが、階層ごとにそれぞれが分担した役割を担っているという捉え方もできる。まず引用文の

以上より、航空機産業は支配的な産業構造であるといわれる反面、生産工程全体を取りまとめるという他の企業ではなし得ない、唯一無二の重要な役割を担っていると考えられる。

ブロック引用後の文章は1字下げをせず
同一パラグラフとして扱う

次に自分の主張につなげる

参考文献

渋武容 (2020) 『日本の航空産業』中央公論新社

<補足事項>

- ①引用箇所**に強調したい部分がある場合には、その場所に下線を引き最後に“(下線は筆者)”**と入れることで強調が可能となる。
- ②引用箇所の中で、自分の主張と関係の無い場所は“(中略)”や“[….]”と入れることで省略が可能となる。
- ③まれに引用元の文章に誤りが見受けられる場合があるが、その場所にルビで“ママ”と入れることで、引用元からそのまま引用していることを示すことができる。

◇参考文献

小笠原喜康 (2018) 『最新版 大学生のためのレポート・論文術』 講談社

佐渡島紗織・坂本麻裕子・大野真澄編著 (2015) 『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド
—大学生・大学院生のための自己点検法 29—』 大修館書店

5. 図表の扱い方

□ 図表とは

多数の数値等を視覚的に比較でき、文章の補足的な役割を果たしてくれるもの。絵や写真も図に該当する。図表は正確にまたそれだけを見てもわかるようにつくることが重要である。

< 図と表の違い >

- **図 (figure)** …多くの情報を一目で直感的にわかるように盛り込める。
- **表 (table)** …正確な情報を整理して盛り込める。

□ 図表を使う理由

レポートや論文を書くにあたり、何かのデータや統計を用いる機会は少なくない。論文の多くはそうしたデータに基づく根拠があるからこそ著者の主張が成り立つものである。

データから得た数値を文章中に羅列するのは簡単だが、読み手にとってはその数値が何を表しているのかがイメージしづらいこともある。そこで、一目で見て何を示しているのか判断しやすい便利なツールが図や表なのである。

□ 図表挿入の手順

- ① 図表が文章中において何を示しているのかについて「予告」と「説明」を入れる¹。
- ② 図表を挿入して²、「通し番号とタイトル」をつける³。図は図ごとに、表は表ごとに通し番号をつける⁴（図 1、図 2、…表 1、表 2、…）。タイトルでは、図表の内容を端的に表現する。
- ③ 引用した図表の下には「出典」を示す⁵。別途補足を加える必要があれば、「注」も加える。
- ④ 図表を示した後で、必ず「自分の主張や意見」を述べる。

¹ 一般的には、予告は図表の前に挿入し、説明は図表の後に挿入する。ただし、説明は図表の前に挿入される場合もあるため、文脈次第で分かりやすい順序を採用するとよい。

² 図表は原則、白黒にする（白黒印刷でも視認性を落とさないようにするため）。

³ 卒論や修論など文章や図表の量が多い場合は、「章番号 - 図表番号」という付け方が推奨される。例えば、第 3 章の中で 4 番目に挿入した図の場合は「図 3-4」となる。

⁴ ただし、大学・教員・提出先団体の指定がある場合には、当該指定に従う。

⁵ 基にしたデータが引用情報の場合、出典元を必ず明記しなければならない。この作業を忘れてしまうと、剽窃（ひょうせつ）とみなされるため注意が必要。

➤ 「予告→図表の挿入→図表の内容説明→自分の主張や意見」という流れを意識する。

〈表の挿入方法〉

ドイツでは世界中で広く採用されている法的分離ではなく、所有権分離の電力体制を採用している企業が多い。表 1-1 は、EU の発送電分離の形態を示している。

②番号とタイトル
を表の上に記す



①表の予告
を入れる

表 1-1 EU の発送電分離の形態

所有権分離		1行分空ける	法的分離	
国	送電事業者名	国	送電事業者名	
イギリス	National Grid NGET	フランス	RTE EDF Transport	
ドイツ	50Hertz,TenneT	ドイツ	Amprion,TransnetBW	
イタリア	Terna	オーストリア	Austrian Power Grid	
スペイン	REE	ギリシャ	Admine	
ベルギー	Elia	イギリス	SHETL,SPTL	

出典：電力中央研究所（2013）より著者作成。

注：イギリスの所有権分離の実施地域はイングランド・

ウェールズ地方、法的分離の実施地域はスコットランド地方。

②表の挿入(原則 白黒にする)

③出典と注を挿入する



①表の説明を入れる

EU では 15 か国が所有権分離を行っているが、表 1-1 で示したように実際には法的分離と所有権分離を採用している企業の割合は半々といったところである。しかし、今後は再生可能エネルギーの普及に伴って、様々な業種・業態の企業が電力市場に参入することが見込まれる。競争が激しくなればなるほど、事業売買や統廃合をしやすい所有権分離が主流になっていくであろう。

参考文献

電力中央研究所（2013）『電気事業の仕組みを読み解く』東北エネルギー懇談会

④自分の主張や意見などにつなげる

〈図の挿入方法〉

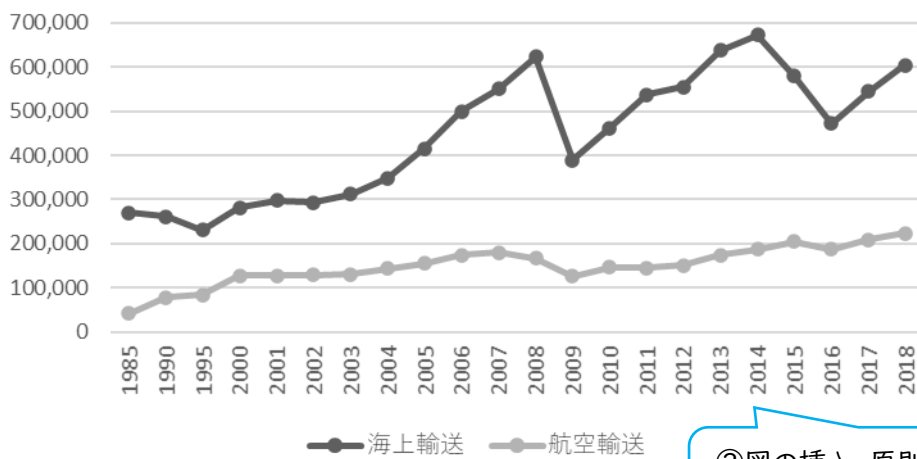
航空貨物便を利用した輸送方法は、年々その貿易金額を伸ばし続けている。図2は、輸送機関別の貿易額の推移を示したものである。

↑ ↓ | 行分空ける

①図の予告を入れる

グラフの場合、軸のラベル、数値の単位など必要な情報を忘れずに記入する。数値の示し方(カンマなど)は統一する

輸送機関別の輸入貿易額の推移



②図の挿入。原則 白黒にする
番号とタイトルを図の下に記す

③出典や注を挿入する

図2 輸送機関別の貿易額の推移 (輸入・輸出)
出典：国土交通省港湾局 (2019) より著者作成

↑ ↓ | 行分空ける

①図の説明を入れる

海上輸送の輸入額は、34年間で約1.5倍の増加となっている。同様に、航空輸送においても増加率は約5.5倍にも及び海上輸送の伸びを圧倒する。目下、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で航空産業は大打撃を受けている。人の輸送で収益を確保することが難しい状況では、貨物の輸送を増やしていかなければ経営が立ち行かない。ゆえに、航空輸送における貿易額の増加率はさらに上昇すると考えられる。

④自分の主張や意見などにつなげる

参考文献

国土交通省港湾局 (2019) 『2019年度版 数字で見る港湾』日本港湾協会



シャチ（鯨、学名: Orcinus orca）は、哺乳綱鯨偶蹄目マイルカ科シャチ属の海獣である。特徴として、背面は黒、腹面は白色で、両目の上方にアイパッチと呼ばれる白い模様がある（※Wikipedia 参照）。



シャチ（鯨、学名: Orcinus orca）は、哺乳綱鯨偶蹄目マイルカ科シャチ属の海獣である。その特徴を絵に示した。
背面は黒、腹面は白色で、両目の上方にアイパッチと呼ばれる白い模様がある（※Wikipedia 参照）。可愛いね。



図表という具体物を効果的に使うことで自分の言いたいことが相手に伝わりやすくなるよ！

◇参考文献

浜田麻里・平尾得子・由井紀久子 (1997) 『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版
白井利明・高橋一郎 (2013) 『よくわかる卒論の書き方 第2版』ミネルヴァ書房



いざ書こう!となると
やっぱりちょっと不安
だな...

テーマが決まらないし...
実際書き始めても うまく
まとまらないし...

そんな時は
ライティング・ラボを
利用しよう!
院生のチューターさんが 一緒
に文章を検討してくれるよ!



◇アクセス <多摩キャンパス MAP>



ホームページ

検索 中央大学 ライティング・ラボ

<https://sites.google.com/view/chuo-writinglab/>

モノレールを出て右手
にある建物だよ!



詳しい利用方法・開室日時
はホームページを確認し
てね~

Twitter も随時更新中
だぞ!
ワークショップも定期
開催しているからチェ
ックしてくれよな!



ライティング・ラボ 公式

twitter



@chuo_writinglab

セッションの予約状況や
イベント情報などをお知らせします。

中央大学ライティング・ラボ（2020&2021）

◇部門長：尹 智鉉

◇スーパーバイザー：中野 玲子

◇アソシエイトスーパーバイザー：峰尾 菜生子

◇シニアチューター（五十音順）：越智 隆太・川嶋 孝幸・黒田 将司

鈴木 将平・樋口 晃太

◇チューター（五十音順）：新井 利英・池内 陸・上條 由貴・黒須 万貴子

小松 真理子・高尾 美鈴・田島 直也・田中 絢子

鄭 慧明・橋口 龍也・林 雅子

*2021.3 卒業のチューターを含む



表紙デザイン：林 雅子